

家族会・救う会から北朝鮮指導者への2回目のメッセージ  
「全拉致被害者の即時一括帰国を決断して頂きたい」

私たちは1997年以来、拉致された日本人被害者を救出するための国民運動を進めてきた家族会と救う会です。家族会は拉致被害者の両親や兄弟、子弟などの組織です。救う会はそれを支える国民有志の組織です。

二年前に私たちは一度次のようなメッセージをお伝えしました。

全拉致被害者の即時一括帰国が実現するのであれば、私たちは帰還した被害者やその家族に秘密の暴露を求めるつもりはなく、国交正常化に反対する意思もありません。

強調いたしますが、家族会は拉致被害者と静かな日常生活を送ることを切望していますし、救う会もその実現を日本政府に求めるだけです。

私たちは、ここで金正恩委員長に「全拉致被害者の即時一括帰国を決断していただきたい」と強く訴えます。

本日再度、この私たちの切実な思いは変わっていないことをお伝えします。しかし、このメッセージには期限があります。

昨年、家族会・救う会が救出運動を始める前から我が子を助ける活動をしてきた有本嘉代子さんにつづき、家族会発足時の代表である横田滋さんが亡くなりました。

四半世紀の間、救出運動を続けてきた私たち家族会・救う会は親の世代の被害者家族が被害者と抱き合うことなしに国交正常化に賛成することはできません。それが実現しなければ大多数の日本国民は北朝鮮との関係改善に反対するでしょう。

菅義偉総理大臣は委員長と直接向き合って拉致問題を解決すると繰り返し表明しています。一日も早く日朝首脳会談に応じ、全拉致被害者を即時一括で帰国させて下さい。

私たちは、ここで再度、金正恩委員長に「全拉致被害者の即時一括帰国を決断していただきたい」と強く訴えます。

金正恩国務委員長 殿

2021年4月3日 東京

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会 代表 飯塚繁雄

飯塚繁雄

北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会 会長 西岡 力

西岡 力